

● ライトニング

Lightning

2008 Vol.166 2月号 定価 ¥630

特別企画!!
ハイレベル
間違い探し
スペシャル!!

Go #55
Get 'em
Goal

巻頭特集

今気になるのは
「変わらない定番」
&
「これからの新定番」

JOE

EAST

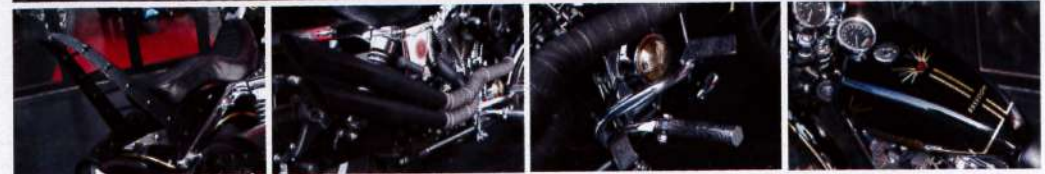


'05 FXDL

フリーダムガンダムをイメージして製作。色だけは白ではなく黒でオーダー。タンクやマフラーは自分でスケッチを起こしてオーダーし、試行錯誤を繰り返した苦心の作



→タンクの脇に付けられているのは砲弾型スピーカー。iPodが接続可能で、かなりの音量を発するスグレモノ



↑ガンダムの翼をイメージしたキャリア。可動式にしたかったが強度的に無理だった

↑アメリカで見たチョッパーに憧れて、イラストから起こして作ったワンオフマフラー

↑ステップやポイントカバーなど、細部のパーツは刻美のアイテムが使われている

↑ガンダムのショルダーみたいなワンオフタンク。翼をイメージしたマークが入る

上右：コレがモチーフとなったフリーダムガンダム。初代ガンダム世代だが、新しいのにもハマった。下右：アメリカンテイに埋め尽くされた部屋は自分だけの空間。ヘルボーイがお気に入り。左上、下：デイブ・ハンセン氏自ら探寸してくれたラングリッツ。ゴートスキンで非常に着やすいお気に入り

←結婚式のために岡本さんが製作してくれたというウェルカムボード。メガホンも岡本さんのプレゼント



↑北海道でハーレーに乗る牧師、アーサー氏と出会い、その後、結婚式の司祭を務めてもらうことに。すべてハーレーつながり

→ラングリッツ以外にもブコやウエスコも所有。ヘビィチューンでライディングギアには一生困らなそう



お気に入り
はコレ

↑ハーレーに乗る楽しみのひとつは、風景写真を撮ること。一人で走るときは常にバッグに忍ばせている

↑人気の高いウィリアム・ギブソンのMA-1も所有。コレが一番着やすいらしく年季が入っていた



ガンダムも
アメコミも好き



Who is it
to Ride a
CUSTOM BIKE?

04

text/A.Takeuchi 竹内淳 photo/T.Masui 増井貴光
取材協力/トライジャ TEL072-970-3110

★井上征幸さん

流行だけがカスタムじゃない。 個性をカタチにするのもカスタム。

ハーレーのカスタムにも流行がある。でもそれを追うだけじゃつまらない。自分らしさをバイクに吹き込むのがカスタムなのだから。



↑ハーレーに乗るきっかけになったというエヴィスのデニム。鉄馬と書いてハーレーと読むと知って乗らなきゃと思ったそう

ハイテクからオールドスクールへ、ハーレーのカスタムにも流行があるけれど、自分らしいユニークなカタチをオーダーしたのは野田啓一さん。「フリーダムガンダムをイメージしたんです。羽みたいなシッシーバーがあって、色はバットモービル」カスタム前提だったのでバイクもトライジャで購入を考えたそうだが、ビルダーの岡本さんにディーラーでの購入を勧められた。「オイルが噴出したトラブルがあって、その時はディーラーで買っていて助かりました。今は変わりすぎちゃったから触ってもらえないだろうけど、何かあった時には安心できますね」カスタムでは特にタンクにこだわり、何度岡本さんと衝突したとか。「そんなの出来るかって怒鳴られたこともありました。でも完成はスケッチそのままにあってきた」自慢のスピーカーからはロックが流れ、気分を盛り上げる。「ガンダム行きまーす、みたいな気分です乗りましたっす(笑)」

フルカスタム2台のツーリング

←撮影のために、岡本さんと2人でショートツーリングに。野田さんはショップのツーリングの仕切りも手伝う親密な関係



→自分のこだわりをカタチにするのがカスタム。そんなの出来るかぁ！とビルダーの岡本さんに怒られたこともあるとか。でも完成したカタチに大満足

